

令和3年度 第1回 可美中学校運営協議会 議事録（HP用）

- 1 開催日時 2021年5月11日（火）13：30～15：40
- 2 場 所 可美中学校 会議室
- 3 出席委員 竹内良昭 鶴飼愛子 岡本眞理（コーディネーター）  
（敬称略） 金原元康 中村裕康 中村淳子 小野田和弘 小野田康弘 和田剛  
小山智美  
（校長：北村健治 教頭：中村真由美 教務：中村里恵  
学校担当：山田真史 與五沢智宏）

傍聴者氏名 市教委教育総務課 鈴木陽子・山田友梨、蜷塚中校長 山口俊二

- 4 新学校運営協議会委員任命
- 5 CSの説明 CSの説明 昨年度の活動報告
- 6 議長の選出 竹内良昭
- 7 熟議

- ① 学校運営の基本方針についての説明
- ② 学校運営の基本方針についての熟議と承認
- ③ 今年度の支援策についての熟議



① 学校運営の基本方針について（グランドデザイン参照）

- ・ 資源回収が行われた。地域の方が本当に協力的でありがたい。
- ・ 生徒たちは部活動を頑張っている。
- ・ ひまわり農園ができ、CSのおかげだと実感している。
- ・ 可美中生徒の実態や職員の構成の説明
- ・ キャリア教育のキーワードは「可美笑み」

か=かかわる み=みつめる え=えらびだす み=みいだす

② 熟議と承認

- ・ 以前高齢者調査した際、可美に20年くらい住んでいる人が「可美の人は冷たい」と言っていた。都市化が進んできているせいだろうか…ドキッとした。
- 「情をもって接する」という方針→子どもたちもそうなりとよい
- ・ キャリア教育とは？

職業だけでなく、生きていくうえでの人とのかかわり方 生き方の計画

- ・ 自分たちが子どもの頃は将来のことはあまり考えていなかったが今の子は？  
昨年度、職場体験中止したが、『未来授業』でいくつか話を聞いた。本物に触れて感覚が変わった。久保さんの講演会（笑いが自分を変えたという内容）も大きなインパクトがあった。

教師が仕掛けていくうちに少しずつかんでいくのではないかな。

⇒学校運営方針は承認されました

③ 今年度の支援策について

○ひまわり農園

- ・ 本当は地域の方をお願いしたかったが、なかなかいなかった。JA のセンター長が大久保さん紹介してくれた。
- ・ 次回の苗植えの時に取材を依頼してある。新聞社に取材を依頼すると反響がすごい。いいことは載せてあげたい。
- ・ 新聞に出ると励みになる。土いじりすると健康によいらしい。

⇒12/3のひまわりショップで売りたい→社会福祉協議会に寄付する予定

○職場体験先開拓 今年度11月1・2日の予定

- ・ 近隣だけでなく浜松にはいろんな所がある。2年前は南区以外も開拓した。昨年度はコロナでできなかったが、連絡してみると、今年は昨年と違いできそうなどところもある。

○受検前面接練習 今年もお願いしたい

- ・ コロナのワクチン次第か。
- ・ 面接官役は元教員の方が多い。そうでない方ももう少し入ってくださるとよい。
- ・ 協働センターのコミュニティ担当の方が相談にのってくれるらしい。
- ・ P T Aからすると高校受検用なので…  
3年生の親に「人生のため」という主旨をアナウンスしてもらえればOK。
- ・ もととのねらい→可美中の先生でない人にやってもらって緊張させる  
人生経験が長い人から作法を覚えてもらう  
(ドキドキに慣れさせるのが目的)
- ・ 面接官も合否にかかわったらどうしようと心配していた。
- ・ 中学校の先生との練習はいつあるか？  
C S 前後 (学校教員→C S→学校教員→C S→学校教員) 回数がかかった  
C S の面接官の方は褒めて終わってくれるので生徒たちに自信がつく。
- ・ 昨年度は女性を入れた方がよいということで、2人の女性をお願いした。
- ・ 昨年度の実際の面接記録もほしい。人材をたくさん確保してほしい。
- ・ 面接官ご自身も貴重な体験になったと言ってくださった。  
受検生のためだけのものではなく、地域の方の生きがい・やりがいにもなっている。

○講演会

- ・ 昨年度久保さんの講演会はコロナ禍だったが楽しい思い出ができたのではないか
- ・ 当初から挙がっている I F さんに来ていただきたいが、確実性はない。現状を確認。
- ・ 可美中卒業生にこだわるか。企業の社長は？浜松出身の女性講師は？
- ・ 自分で道を切り開いた方は？オリンピック候補選手とか弁護士とか…